

本書の使い方

本書での学習の中心となる見出し語について、構成要素・記号は以下のようになっています。

③ フレーズ

- * 暗記用の短文とその訳です。
- * 意味が複数ある場合は、最も重要な意味に関しての短文となっています。

④ イメージ

- * 語のイメージをタイトルで簡潔に示しました。
- * 語源や語感・語の構成・漢字などについて理解して、見出し語とその意味が結び付きやすいようにしました。
- * ②で扱った意味から類推しにくい意味についても触れました。

① 見出し語

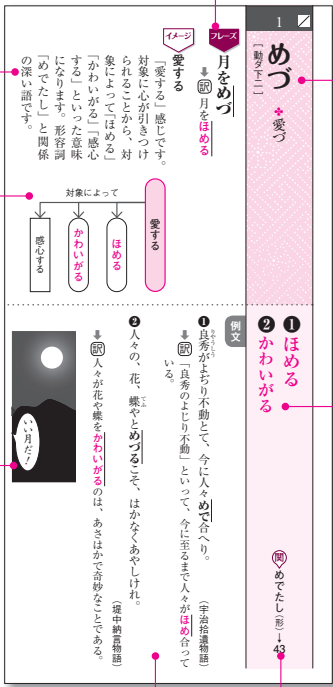
- * 上の数字は、見出し語の通し番号です。
- * 暗記に有効な場合は、下に代表的な漢字表記を示しました。
- * 左に品詞名と、用言の場合は活用形を略記しました。
- * 略記の例
夕行下二段活用 of 動詞 → 動夕下二

② 意味

- * 覚えて欲しい意味です。
- * より重要度の高い意味は、大きな文字で示してあります。
- * 意味が一つの場合は、大きな文字になっています。

⑦ 関連語など

- * 類は類義語、対は対義語、音は同音異義語、関は関連語を表します。
- * 見出し語で扱っている語は→で見出し語番号を示し、見出し語にない場合は意味を記しました。



⑤ イメージ図

- * イメージでの説明や②で示した意味を図式化したものです。
- * ②で示した意味は色字で、説明でだけ扱った意味は黒字になっています。
- * 図の代わりに、イラストがある場合もあります。

⑥ イラストなど

- * 語感や意味などを印象づけるために、イメージ化したものです。
- * イラストのほか、コラムや活用表などがある場合もあります。

⑧ 例文と口語訳

- * 教科書や古語辞典にある例文から多くを採用しました。
- * 訳は、語の意味を確実に反映するため、直訳にしてあります。
- * 関連語などで取り上げた語の例文には、それぞれのマークを示しました。イメージの説明でだけ扱った意味の場合は、イとなっています。
- * より文脈に合った訳語を示す時は、p.46「よろし」の類語例文の訳のように「よく(→上手に)」としてあります。

本書を使って、一週間単位で効率的に単語とその意味を覚える方法の一例を示します。単語の暗記には、通学途中や休み時間など、ちょっとした空き時間を利用して、一日に何度もくり返すと効果的です。また、付属の赤色のシートも活用して下さい。

一日目	二日目
<p>めづる</p> <p>愛する</p> <p>めづる</p> <p>愛する</p>	<p>めづる</p> <p>愛する</p> <p>めづる</p> <p>愛する</p>

1. 一つの見出し語とその意味を覚える

- ①と②で見出し語とその意味を確認。
- ③のフレーズの音読と暗記(音読のかわりに、つぶやくのも一つの方法です)
- ④の説明を読んで、語源や語感・語の構成などを理解。
- ⑤の図があれば、赤色のシートを使って意味を確認。
- ⑥のイラストがあれば、見出し語の意味とイラストのイメージをつなげます。
- ⑦に戻って暗記できているかを確認。
- ⑧の例文で見出し語・関連語などの使い方と意味を確認。

2. 一日に3語、一週間に15語を覚える

- ◎一日目の学習
 - 一日に学習するのは、見開き二ページにある三つの見出し語(3語)です。
 - 1の学習を3語について行います。
 - 一日に何度もくり返すと効果的です。
- ◎二・五日目の学習
 - 一日目の学習と同じです。
 - 前日に暗記したフレーズを欄外(上)の★で確認。
- ◎六・七・九日目の学習
 - 五日目フレーズの確認。
 - 一〜五日目の総復習。

3. 練習問題

- ・15語ごとにあります。
- ・一〜五日目の15語について、新規の例文で確認する問題です。
- ・一週間の学習の総復習時にも、または後からまとめて利用することもできます。

4. 三週間後の復習と入試問題

- ・一週間の学習を、三週間分45語終えると、各ステップの半分が終了します。
- ・次の一週間(四週間目)は、それまでの45語の総復習を行うのが理想的です。
- ・総復習では練習問題も活用できます。
- ・45語ごとに入試問題があるので、最後に力試しを行うことも可能です。
- ・入試問題は、前半が選択式、後半が口語訳の問題で構成されています。
- ・時間に余裕がない場合は、すぐに新しい15語の学習に進みます。

- ・約半年(最短18週)で1〜3章の学習を一通り終えることができます。
- ・4章の重要敬語は、3章終了後あるいは適宜学習して下さい。
- ・一通り終えたら、反復をくり返しましょう。
- ・PLUSも適宜利用しましょう。